

# Environment

## 環境

		2020年度	2021年度
CO <sub>2</sub> 排出量	事業運営に伴うCO <sub>2</sub> の排出量 Scope 1 (t-CO <sub>2</sub> ) ・自社車両（トラック）による使用燃料	15,030	15,037
	事業運営に伴うCO <sub>2</sub> の排出量 Scope 2 (t-CO <sub>2</sub> ) ・自社物件、自社契約物件による使用電力	7,115	8,781
	事業運営に伴うCO <sub>2</sub> の排出量 Scope 3 (t-CO <sub>2</sub> ) ・間接排出のカテゴリ集計	656,373	734,946
	購入した製品・サービス「カテゴリ1」 ・3PL事業、求貨求車サービスによって手配したパートナー車両による使用燃料 ・購入した事務用品等の製品	623,464	702,674
	資本財「カテゴリ2」 ・トラックの購入や拠点の建設など、購入及び補修した財務資産	7,421	6,272
	Scope1.2に含まれない燃料及びエネルギー活動「カテゴリ3」 ・Scope1.2に使用した燃料・電力の採掘や調達	3,204	3,399
	事業から出る廃棄物「カテゴリ5」 ・ダンボール等の廃棄物	12	14
	出張「カテゴリ6」 ・従業員の出張等による移動と宿泊	952	1,160
	雇用者の通勤「カテゴリ7」 ・従業員の通勤で用いられる自動車や公共交通機関による移動	3,611	3,716
リース資産「カテゴリ8」 ・財務支配力を有していない拠点・倉庫の使用電力	17,709	17,711	
CO <sub>2</sub> 削減量	求貨求車サービスによるCO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> ) ・トラックの空車率を低下させ、国内のトラックの稼働台数を削減したことによる効果	101,454	132,469
	パレット回収によるCO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> ) ・長期滞留を防ぐことにより不要なパレットの製造、廃棄を抑制したことによる効果	1,663	3,468
車両 保有	低公害車両（トラック）保有率 (%) ・新長期規制以降の適合車両の保有割合	96	96
	エコカー（社用車）保有率 (%) ・ハイブリット、電気、水素等のエコカー率	57	62

- (注)
1. 環境に関するデータは2020年度から算出を開始しています。
  2. CO<sub>2</sub>排出量は国内グループ会社の合計数値です。